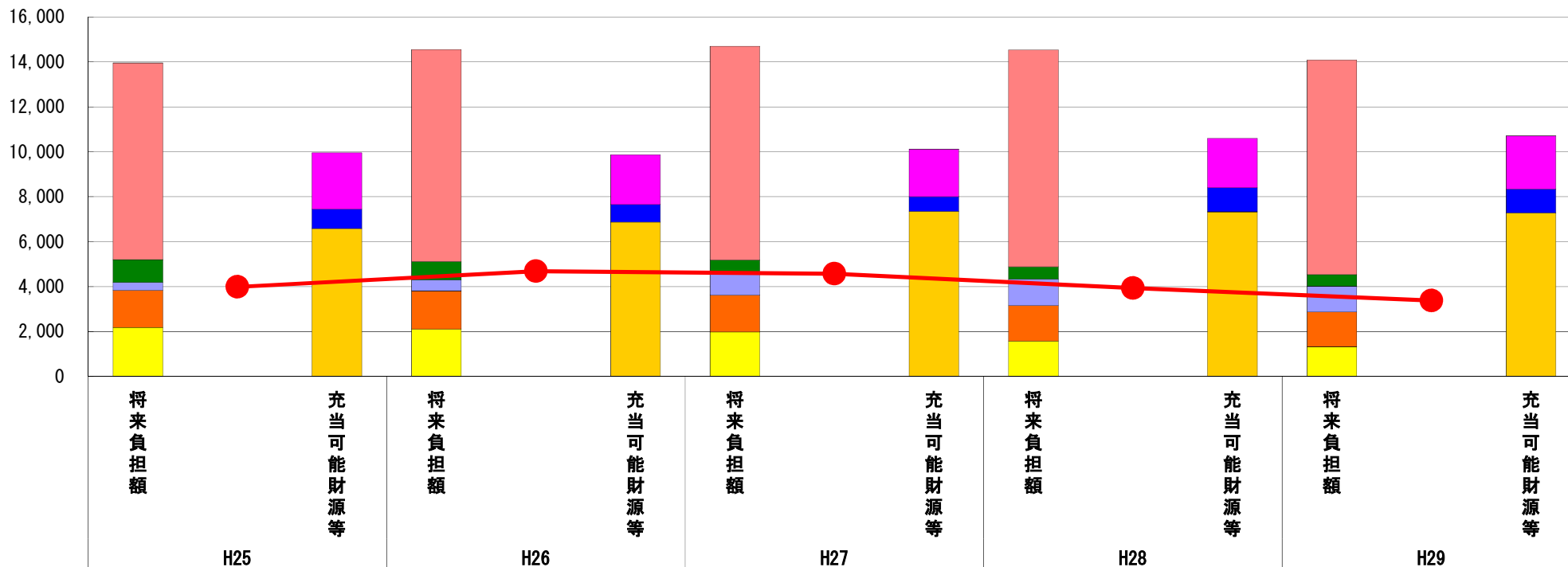


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

長野県下諏訪町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		8,743	9,427	9,513	9,659	9,550
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		1,016	823	633	544	525
	組合等負担等見込額		356	489	938	1,177	1,136
	退職手当負担見込額		1,651	1,689	1,629	1,579	1,545
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,184	2,120	1,984	1,578	1,331
	うち、健全化法施行規則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,515	2,213	2,118	2,201	2,372
	充当可能特定歳入		862	779	656	1,071	1,051
	基準財政需要額算入見込額		6,583	6,871	7,349	7,328	7,284
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,989	4,686	4,574	3,938	3,380

分析欄

将来負担比率の分子が減となった要因としては、「一般会計等に係る地方債の現在高」において、起債の新規借入が償還額を下回ったことにより対前年度109,226千円の減となったこと、「組合等負担等見込額」では、湖北行政事務組合や諏訪広域連合への負担金が対前年度41,574千円の減となったこと、「設立法人等の負債額等負担見込額」では、一般会計から計画的に行っている損失補填の実施により土地開発公社の負債額が247,171千円減となったことが影響している。また、上記に加え、将来負担額から差し引くことができる充当可能財源等について、昨年度比107,190千円の増となったことも、分子を押し下げる要因となった。分子全体では、対前年度558,775千円減の3,379,549千円となっている。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。